

登録コード	HB494100	開講年度	2026					
授業題目	歯科口腔外科特論					担当教員	栗田 浩 他	
英文授業名	Dentistry and Oral Sugery					副担当	酒井 洋徳	
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	生命医工学専攻1~2年	
				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HB4年制初							
	【専攻】医学と理工学の融合領域における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力					⇔	歯科口腔外科学の課題を理解し、問題解決の方法を検討できるようになる。	
(2)詳細/Detailed information	歯科口腔外科学を探究するためには、歯科および口腔外科の歴史、歯科口腔疾患の病態、診断、治療、リハビリテーション、全身管理および関連疾患などについて学ぶ必要がある。本授業では、講義、討論、実習などを通じて、上記に関する理解を深める。							
(3)授業の概要/Overview of course	歯科・口腔外科の歴史、歯科・口腔疾患の病態、歯科・口腔外科診断学、歯科・口腔外科治療学、リハビリテーション、全身管理および関連疾患などについて学び、歯科疾患・口腔外科疾患の特性、予後、機能に与える影響などに講義および討論（カンファレンス）をとおして学ぶ。							
(4)授業計画/Course plan	1，講義 歯科口腔外科の歴史 2，講義 歯科口腔疾患の病態 3，講義 歯科口腔外科診断学 4，講義 歯科口腔外科治療学 5，講義 全身管理および関連疾患 6～15、自由討論（カンファレンス） 症例を通して診断、治療、予後について理解を深める。							
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	全ての講義終了後には、レポートを課して理解度を評価する。 自由討論では、カンファレンス資料の収集作製およびプレゼンテーション、討論への参加状況を評価する。 総合評価として、90点以上「秀」、80-89点「優」、70-79点「良」、60-69点「可」59点以下「不可」とする。							
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	歯科口腔外科学の理解を図るレポートで60点を取れば「可」とする。 また、カンファレンス資料作製、プレゼンテーション、自由討論で明確な議論が行えていれば「可」とする。							
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	講義は積極的な出席を望むが、評価はレポートにより行います。 各カンファレンス前には、資料の作成・理解を通じて、自己学習を行っておいください。 自由討論では、積極的に参加（発言）をして下さい。							
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時受け付けます。 メール（hkurita@shinshu-u.ac.jp）も可です。							
(9)授業の形式/Course format	講義はオムニバス形式で行います（それぞれの講師、開催時間を連絡します）。 討論は、歯科口腔外科症例カンファレンスに参加してください。							
【教科書/Textbook(s)】								
【参考書/Reference work(s)】								